

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

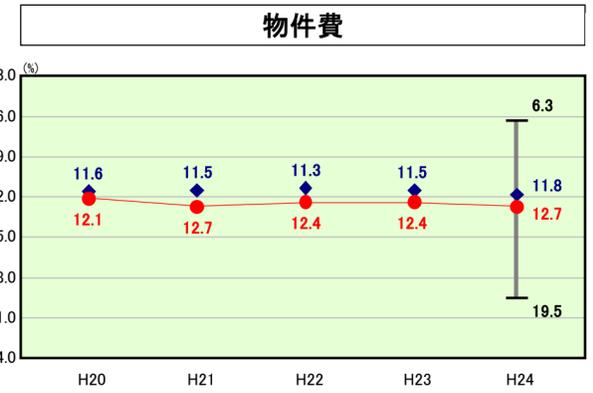
山梨県北杜市

経常収支比率の分析

人口	48,937人	(H25.3.31現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	48,433人	(H25.3.31現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	602.89	km ²	実質公債費比率	15.5%
歳入総額	32,254,212	千円	将来負担比率	79.4%
歳出総額	31,374,315	千円		
実質収支	705,990	千円	市町村類型	H20 I-O H21 I-O H22 I-O
標準財政規模	20,668,990	千円	(年度毎)	H23 I-1 H24 I-1
地方債現在高	33,709,382	千円		

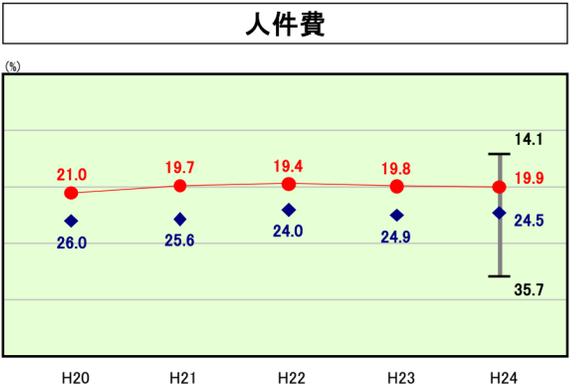


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。



物件費の分析欄

8町村での合併のため類似する公共施設が多く、管理運営に係る経費が多額のため類似団体平均を上回っている。現在、指定管理者制度の導入や施設の統廃合により削減を図っているが、今後は、公共施設の統廃合を更に進め、一層の経費削減に努める。



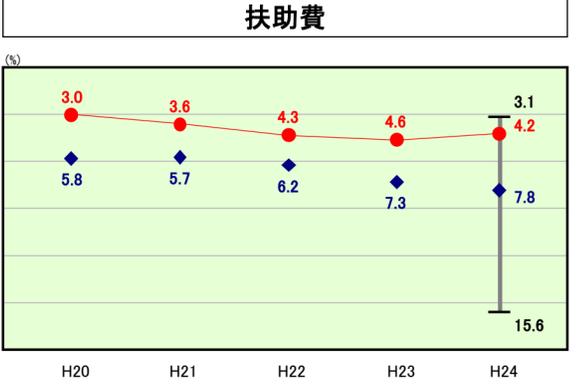
人件費の分析欄

類似団体平均と比較すると、人件費に係る経常収支比率は低くなっているが、定員管理の状況から、職員数が類似団体平均より多くなっていることから、退職者の補充抑制等により職員数の削減を行い、人件費の増加抑制に努める。



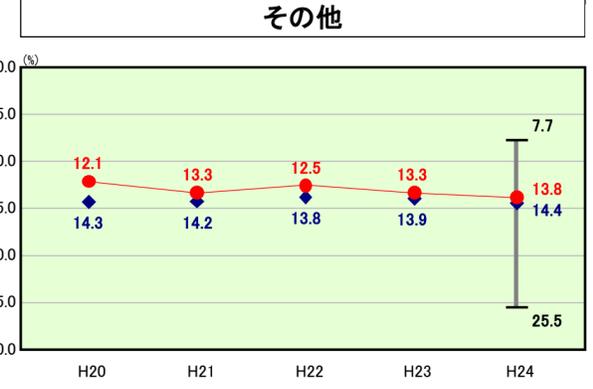
補助費等の分析欄

昨年度より、0.4ポイント増加しており、類似団体平均も1.2ポイント上回っている。一部事務組合等への負担金の増加が要因であるが、引き続き、市単独補助金の廃止や削減などの見直しを行い増加抑制に努める。



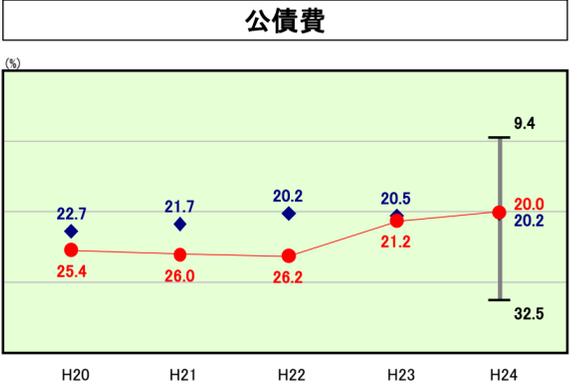
扶助費の分析欄

経常収支比率の上では、類似団体平均を下回っており、前年度から0.4ポイント減少している。要因としては子ども手当が減少したことによるものであり、今後についても、各種事業の効率的な実施や制度の見直しにより増加抑制に努める。



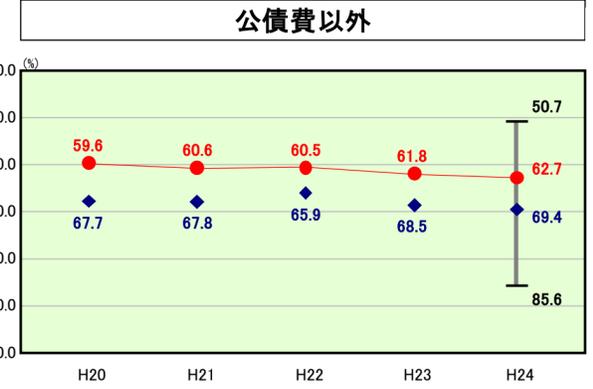
その他の分析欄

類似団体平均を0.6ポイント下回っているが、前年度から0.5ポイント増加しており、増加傾向となっている。要因としては、特別会計への繰出金の増である。今後は、国民健康保険・介護保険等の医療費、簡易水道事業・下水道事業の維持管理経費や公債費の増加が見込まれるため、特別会計において料金の改定などによる自主財源の確保を図り、普通会計の負担軽減を図る。



公債費の分析欄

借入れを抑制しつつ償還を進めていることが反映された結果、公債費は年々減少し、今年度については、類似団体平均を0.2ポイント下回った。今後は、積極的な繰上償還の実施や公共事業の見直しによる地方債発行額の抑制に努める。



公債費以外の分析欄

類似団体平均を下回っているものの、前年度より0.9ポイント増加し、年々増加傾向となっている。8町村での合併のため職員数・公共施設が多く、今後は定員適正化計画の確実な実施や公共施設の統廃合等により、人件費・物件費の削減を図る。